

平成21年度『魅力ある学校づくり』体験活動 ～吉野ヶ里とともに～

吉野ヶ里町立東脊振小学校

# 学校紹介

私たちの小学校は、脊振山地の山麓、農村地帯に位置しています。周囲は田畑や森林に囲まれ、脊振山地から流れ出す河川は清流が絶えることはありません。その支流の一部は校舎の下を「学校川」として流れ、小魚やヤゴなどが見られます。夏になると素足になり川遊びもできる豊かな自然に恵まれた学校です。平成19年1月には全館冷暖房の新校舎が完成し、恵まれた環境の中で日々生活を過ごしています。

6年生の社会科や総合的な学習の時間には、校区内にある全国的に有名な吉野ヶ里歴史公園で、調べ学習や体験活動に取り組んでいます。私たちは吉野ヶ里歴史公園での学びを通して私たちの故郷吉野ヶ里町への愛情と誇りを培っています。

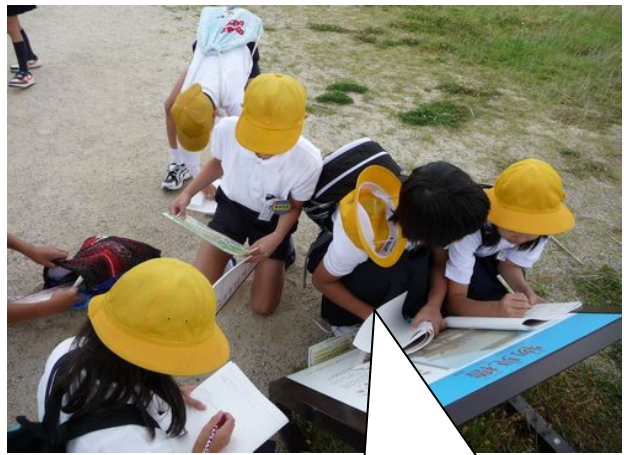


# 吉野ヶ里歴史公園見学

第1回目の活動として、吉野ヶ里歴史公園の見学に行きました。この日は、吉野ヶ里歴史公園周辺の貴重な文化遺産や縄文時代・弥生時代の人々の生活について調べ学習を進めました。社会科の教科書に吉野ヶ里歴史公園が載っていることや、弥生時代の様子について事前に学習していたこともあり、子どもたちはとても興味をもって見学することができました。住居に入ったり物見やぐらに登ったりしながら、ボランティアガイドの方に質問するなどして、当時の人々の暮らしに思いをはせていました。



「中に入ったら、ひんやりと涼しかったよ。」  
「床は土間になっていて、冬は寒そうだね。」  
「何に使った建物かな。」



「物見やぐらの説明が書いてあるよ。」  
「遠くまで見わたせたらしいね。」  
「どうやって建てたんだろう。」

「社会科の教科書に載っていたね。」  
「建物の種類によって、住んでいる人が違っていたんだね。」

「ここは何をすところかな。」  
「さっきの建物と比べてみよう。」  
「竪穴住居より屋根が高いね。」



# ボランティア活動

吉野ヶ里公園についての理解を深め、そのよさや魅力を知るためのさまざまな体験活動にも参加してきました。また、自分たちにできることは何かを考え、さらには郷土を誇りに思う気持ちを高めることを目標としてボランティア活動を行いました。

第1回目は、朝顔の苗植えです。朝顔を種からポットで育て、本葉が数枚でたくらいの苗を吉野ヶ里歴史公園のプランターに植えました。夏には、伸びたつるが入園者の方々のために日陰を作りました。第2回目は、朝顔の花がら摘みです。咲き終わった朝顔の花に感謝しながら、花がらを摘んでいきました。その日は、きれいに咲いている花を使って、入園者の方々が涼しい気持ちになるようにと、手水鉢で花びらアートも作りました。第3回目は、朝顔の種取りです。この日も、咲き終わった花に感謝をしながら、来年の春にまくための種取りをしました。

3回とも短い時間ではありましたが、入園者の笑顔を思い浮かべながら、働くことの大切さや喜び、苦勞について考えることのできる貴重な体験となりました。

## 苗植え



## 花がら摘み

## 手水鉢



## 種取り

# 火おこし体験

マッチもライターも使わない火おこしを体験しました。係の方から火おこしの説明を受けた後、グループごとに実際に道具を使って挑戦しました。その日は、あいにく小雨や強風などで、残念ながら火をつけることはできませんでしたが、汗をかきながら弥生時代の火おこしの大変さを体験することができました。



# ガイドブック作り

国語科の学習と関連して、相手に分かりやすく伝えることを目的にガイドブックを作りました。開園時間や入場料、見どころやおすすめの場所などを書き、初めて吉野ヶ里歴史公園を訪れた人が見ても分かりやすく、園内を楽しんで見学できるよう工夫しました。

